

月刊曉

5月号
曉寮

曉寮、寮長を含む寮生委員が決定 今後の寮運営に注目が集まる

先月十日に行われた前期寮長・副寮長選挙にて男子曉寮寮長として松田紘宣さんが、女子曉寮寮長として小林百合絵さんが選挙にて当選、務めることが決定した。

また副寮長はそれぞれ中居伶さんと谷結野さんが務める。

その他、寮運営を取り行う委員長と副委員長は次の通りである。

総務委員長 平田弦己
総務副委員長 中井一哲
環境整備委員長 小林舜・石井結奈
環境整備副委員長 坂倉悠斗・森遥花
行事委員長 宮根航翔・今井加恋
行事副委員長 今川粹・林真帆
新聞委員長 服部仁
新聞副委員長 中井新太
備品管理委員長 中村恒平

災害時の対応は？対策は？ 令和六年度曉寮避難訓練（火災）の実施

令和六年度四月十七日の午前七時から七時半にかけて全寮生を対象に火災発生時を想定した避難訓練が行われた。

出火場所は曉寮A棟四階仕切り扉付近の男子側廊下から出火したという想定で行われ、それぞれの棟の当直者が七時頃に放送にて出火とグラウンドへの避難を呼びかけた。

自身の居室の窓と出入り口のドアを施錠し、フロア長や世話係学生による誘導によって、寮生たちは寝惚け眼を擦りながら上の階から順番にグラウンドへと避難を行った。

人員確認報告完了後は曉寮寮務主事である橋爪仙彦教官

備品管理副委員長 白川琥大
選挙管理委員長(食料委員長兼任) 大仲真三人・松下美穂
選挙管理副委員長 松葉勇希・三林茉央

どちらが正しい？議論白熱
食堂に荷物を持ち込んで良いか否か
第一回定例会にて特に議論が白熱したのが、食堂脇に荷物を持ち込んで良いか否かというものである。昨年までも同様に禁止されていたもの、あまり厳しく取り締まられていなかった。しかし今年に入ってから食堂脇に荷物が置かれていた場合はA棟の男子世話係寮生によって没収されている。

この現状に不満を感じた男子寮長の松田紘大さんによってこの議題が上げられ、食堂脇に荷物を置くことに関して反対派である男子世話係寮生と賛成派の他の委員長たちによって議論が繰り広げられた。

食堂脇に荷物を置くのを禁止しているのは、万が一盗難があった場合

食堂の混雑回避 対策意見を随時募集中

昼食時の食堂の混雑回避のための対策案として、食生達の意見を募集している。

食堂での混雑原因として、ウォーターサーバーで水を注ぐと列が進まないのが原因の一つではないのかという意見が出ており、現在机毎にピッチャーを用意し、随時注ぎに行けば良いのではないかと意見が出ています。

そして荷物に関しては寮生の目の届く食堂内の机にスペースを確保しそこを荷物置き場にするという意見が出ています。

しかし少しでも採用するには問題点も多く、他の寮生の意見を募集している。

責任の所在はどこにあるのかという問題があるため、場合によっては警察沙汰に発展する可能性もある。

盗難対策としては、食堂脇に荷物を置くことを全面的に禁止するのは正しい。しかし寮生によっては食堂から自室までが遠く、どうしても手間から今回の避難訓練の意義と目的、そして避難している様子などについて所感を述べられた。

今年度から新しく入寮してきた一年生達にとつては入寮してから初めての避難訓練。そして去年から引き続き在寮している寮生たちにとつては慣れたものの一つである。しかし、その「慣れ」に身を任せてはならない。ましてや面倒くさいからと、たかが

であると感じてしまうのもまた一つの事実である。

盗難による紛失事件が発生するリスクを避けるべきか、それとも何かしら対策を講じた上で荷物を置くことを良しとすべきか。

どれだけ意見を重ねても答えは未だ掴めぬままである。

訓練だからと言って手を抜くのは以ての外である。

災害はいつ発生するか分からない。今年の能登半島地震の様な大災害は他人事ではなく、もしかしたら明日この場所で見られるかもしれない。

曉寮では、今後も万が一の災害が発生した時に備えて、避難訓練が行われていく。

この経験を活かさなければならぬ場面が来ない事を切に願うばかりである。